

角田市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

※ ○ = 達成 : 令和2年度の実績値が令和3年度の目標値と同値もしくはこれを上回ったもの
 △ = 達成見込 : 令和2年度の実績値は令和3年度の目標値に達していないが、令和3年度の実績値が目標値に達することが見込まれるもの
 △ = 要努力 : 現時点において、令和3年度の目標値に達することが難しく、今後、特に重点的な取組を行い目標値の達成を目指すもの
 - = 算定不能 : 現時点において、達成状況を把握することができないもの(条例の制定や計画の策定などを目標にしている指標等)

基本 目標	基本的 方向	(b) 数値目標 重要業績評価指標(KPI)		(c) 担当課	(d) 長総 まちづ くりの 指標	男女共 同参画 の指標	(e)					(f)					
		No.	指標名				基準値	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 目標	達成状況 (※参照)	現状分析	今後の取組(改善)	
1 内発的産業の振興 による安定した雇用の 創出	(1) 地域資源を活かした 内発的産業の振興	①	従業者数 (経済センサス)	-			全産業 14,409 (民営 13,451)人 (平成26年)	全産業 - (民営 13,042)人	- 人	- 人	- 人	- 人	- 人	全産業 15,267人	-	※2021年度(令和3年度)実施の経済センサス(活動調査)の結果による。	
		1	市内園芸産品の販売額	農林振興課		463,000 (平成26年度) 千円	478,000 千円	450,000 千円	430,013 千円	508,555 千円	497,204 千円	530,000 千円	↘	令和2年度は、病害虫による梨の生育被害が発生したことや、新型コロナウイルス感染症等の影響により、販売額が前年度を下回った。 販売額 △11,351千円(前年比較) 【令和2年度実績内訳(令和元年度実績)】 ・JAみやぎ仙南(角田市)園芸部会の販売実績 345,212千円(357,820千円) ・市内直売所(あぐりっと等13カ所)の販売実績 76,052千円(79,220千円) ・道の駅(市内生産者) 75,940千円(71,515千円)	新規就農者の増加に向けた取り組みや、既存農家の生産拡大に資する支援を行うとともに、道の駅を活用した農産物の生産・販売の拡大を目指す。 また、令和2年度で病害虫などにより大きな被害があった梨、梅の果樹農家に対し、令和3年度で病害虫防除のための費用について助成を行っている。		
		2	遊休施設のリノベーションの件数【累計】	まちづくり政策課		- (平成26年度) 件	1 件	1 件	1 件	1 件	1 件	1 件	○	平成28年度の創業支援事業で、民間の遊休施設(ワークキングスペースの2階)を改修し、起業・移住希望者等の滞在施設としてゲストハウスを整備した。	交流人口の拡大、産業の振興、雇用の創出等につながる新たな活用について研究を進める。		
	(2) 市内企業への支援による企業の強化と雇用の拡大	3	市内製造業の従業者数 (経済センサス-基礎調査又は工業統計調査)	商工観光課		5,735 (平成26年度) 人	5,587 人	5,772 人	6,089 人	6,116 人	- 人	6,100 人	-	令和2年度実績については、令和3年5月末時点で経済産業省の工業統計調査における地域別統計表が未発表のため達成状況の判定が出来ていない。(令和3年8月予定)	新たな企業の進出などの企業誘致や既存企業の工場増築などの経営向上を推進し、常用雇用の増加を推進する。		
	(3) 足腰の強い「農業」の再生と生産物の高付加価値化	4	農業生産法人の数【累計】	農林振興課	○	11 (平成26年度) 法人	14 法人	14 法人	15 法人	16 法人	17 法人	18 法人	↗	現在のところ、将来の法人化について検討をしている経営体が2つあり、県と連携して相談業務等を進めている。 【令和2年度実績内訳】 ・活動中の認定農業者の法人数 17(前年比較 +1)	①ほ場整備事業の進捗に伴う農地の集約や、持続的な農業経営の促進を図るため、今後も法人化を推進する。 ②関係機関との連携により、法人化に取り組む農業者に対し支援を行う。 ③農業経営の法人化支援事業補助金の活用により、財政面からの法人化支援を行う。		
		5	認定農業者などの数【累計】	農林振興課		302 (平成26年度) 人	307 人	312 人	292 人	273 人	269 人	312 人	↘	新規で認定を受ける個人や法人が出てきている一方で、高齢のために認定更新をしない方も多く、全体的には減少となっている。 【令和2年度実績内訳】 ・認定農業者数 177(前年比較 -3) ・認定新規就農者数 4(前年比較 +2) ・中核的担い手数 88(前年比較 -3)	国や県の支援策などを活用し、認定農業者へのサポートを充実させ、中核的担い手や新規就農者を増やし、認定農業者などの数を確保していく。		
		6	「こめ・まめ・うめ」を活用した新たな特産品の開発数【累計】	商工観光課		- (平成26年度) 品	4 品	10 品	18 品	24 品	28 品	25 品	○	道の駅かくだの開業により新たな特産品の開発が促進された。 1 角田産米使用・かくだの芋煮定食 まちづくり角田 2 角田産わり梅使用・ロースト牛タン 隅野家 3 角田産米使用・原酒 蔵王酒造 4 角田産玄米使用・あずき餅 ふじさき商店	①道の駅かくだを拠点として商品開発を促進させる。 ②市内事業者にとわらずにOEM(商品開発製造委託)による商品開発を並行して推進する。		

角田市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

※ ○ = 達成 : 令和2年度の実績値が令和3年度の目標値と同値もしくはこれを上回ったもの
 △ = 達成見込 : 令和2年度の実績値は令和3年度の目標値に達していないが、令和3年度の実績値が目標値に達することが見込まれるもの
 △ = 要努力 : 現時点において、令和3年度の目標値に達することが難しく、今後、特に重点的な取組を行い目標値の達成を目指すもの
 × = 算定不能 : 現時点において、達成状況を把握することができないもの(条例の制定や計画の策定などを目標にしている指標等)

(a) 基本目標	(b) 基本的方向	(c) 数値目標 重要業績評価指標(KPI)		(d) 担当課	長総 まちづくりの 指標	男女共 同参画の 指標	(e)					(f)				
		No.	指標名				基準値	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 目標	達成状況 (※参照)	現状分析	今後の取組(改善)
	(4) 次世代成長産業の育成支援	7	創業支援事業計画に基づく創業支援を受けた創業者数【累計】	商工観光課	○		- (平成26年度)	0	3	5	5	5	7	△	<p>【令和2年度達成状況及び担当課評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度の目標値に対する達成状況を入力してください。(※参照) 各指標の達成度の現状分析とそれを踏まえた今後の取組(改善)内容を入力してください。(g)列参照) 箇条書きなどで簡潔に分かりやすく入力し、数値的なデータの裏付けのあるものはそれを用いて根拠等を明確にしてください。 <p>創業者予備軍を発掘し、ビジネススクールや伴走型支援などにより、創業へ向けた支援を実施している。また、支援を受けた創業者に対し優遇措置を実施している。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響によりビジネススクールの開催を見送ったため、令和2年度の新規実績は0件となった。</p> <p>【創業支援内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ビジネススクール ※R2年度は中止。 伴走型支援 2名 <p>【創業者への優遇措置】</p> <ul style="list-style-type: none"> 登記時の登録免許税の軽減 創業関連保証の特例 <p>ビジネススクールについては、新型コロナウイルス感染症の影響により実施を見送ったが、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、今後も、創業へ向けた支援を実施し、創業を実現する。</p>	
2	地域資源を活かした移住・定住の推進	②	転入者数 (住民基本台帳に基づく人口移動調査年報)	-			925 (平成26年)	1,012	920	919	887	863	1,000	△		
	(1) 移住・定住等の推進	8	地域おこし協力隊員の移住・定住率【累計】	まちづくり政策課			- (平成26年度)	-	-	-	100	100	50	○	<p>①令和2年度までに活動を終了した2名中2名について引き続き市内に定住しており、定住率は100%である。</p> <p>②令和2年8月には新たに1名を採用。ゲストハウスの運営・管理のほか、SNSを活用した観光情報の発信、地域資源を活用したイベント(星空喫茶)の開催など、様々な活動を展開している。</p> <p>令和3年4月から新たに1名を採用した。民間事業者と連携しながら、地域資源を活かした活動の展開を支援していく。</p>	
		9	住宅取得助成件数	まちづくり政策課			43 (平成26年度)	66	67	78	-	-	- (平成30年度で事業終了)	△	<p>平成30年度にて事業終了。</p> <p>-</p>	
		10	市ホームページへのアクセス件数	総務課			193,344 (平成27年度見込)	199,120	199,418	180,379	316,279	1,066,960	203,000	○	<p>①令和2年11月にホームページをリニューアルし、利用者に「分かりやすく、使いやすく、安全な」仕組みの構築、災害時の情報発信力の強化、観光情報及びふるさと納税特設サイトの設置により、情報発信の強化を図った。</p> <p>②新型コロナウイルス感染症に係るアクセス件数の増加を差し引いても、大幅に指標を上回った。</p> <p>【新型コロナウイルス感染症関係アクセス数:約80,000件】</p> <p>ホームページリニューアルにより、ハード面の整備が整ったため、情報発信に係る各課との連絡体制を見直すなど、ソフト面である運用を改善し、利用者のニーズに合ったタイムリーな情報発信に努める。</p>	
		11	空き家改修助成件数【累計】	まちづくり政策課			- (平成26年度)	5	10	14	-	-	- (平成30年度で事業終了)	△	<p>平成30年度にて事業終了。</p> <p>民間事業者と連携しながら、空き家バンクの有効な活用方法を検討していく。</p>	
		12	結婚新生活支援事業数	まちづくり政策課			- (平成30年度)	-	-	-	18	14	20	△	<p>目標件数に到達しなかった。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で婚姻数が全国的に前年比12%の減少し、本事業の対象となる新婚世帯が減少したことは要因と考えられる。</p> <p>引き続き、全戸配布やホームページ、フリーペーパー、SNS等を活用し、情報発信を図り制度の認知度を高めていくよう努める。</p>	
		13	市営住宅の水洗化戸数【累計】	都市整備課			156 (平成26年度)	210	224	235	-	-	- (平成30年度で事業完了)	△	<p>10年以上の使用が見込める住宅について水洗化を行い完了した。</p> <p>市営住宅の全体的な老朽化により、公営住宅等長寿命化計画に基づき、順次、長寿命化に対応した改修を行う。</p>	

角田市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

※ ○ = 達成 : 令和2年度の実績値が令和3年度の目標値と同値もしくはこれを上回ったもの
 △ = 達成見込 : 令和2年度の実績値は令和3年度の目標値に達していないが、令和3年度の実績値が目標値に達することが見込まれるもの
 △ = 要努力 : 現時点において、令和3年度の目標値に達することが難しく、今後、特に重点的な取組を行い目標値の達成を目指すもの
 - = 算定不能 : 現時点において、達成状況を把握することができないもの(条例の制定や計画の策定などを目標にしている指標等)

(a) 基本目標	(b) 基本的方向	(c) 数値目標 重要業績評価指標(KPI)		(d) 担当課	長総 まちづ くりの 指標	男女共 同参画 の指標	(e)					(f)				
		No.	指標名				基準値	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 目標	達成状況 (※参照)	現状分析	今後の取組(改善)
	(2) 地域資源を活かした観光振興と交流人口の拡大	14	道の駅かくたの入込客数	商工観光課			- (平成26年度)	-	-	-	1,012,884	759,712	1,000,000	△	①一昨年から令和元年東日本台風災害によるKスポ利用者の減少、昨年から新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛の影響で来場者が減少している。 ②入込客数は買い物客数を基礎として推計。推計方法は、整備実施計画策定時に採用した「買い物客比率(来場者における買い物をする人の比率)」を用いる。(買い物比率/平日:20パーセント/土日休日:35パーセント)	①新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない状況の中、イベントの開催が困難な状況にあるが、感染症の予防対策をしながら出来る範囲で、Kスポや観光イベントと連携を図る。 ②市外からの来訪者を確保するため販売イベントを実施する。
		15	イベントやアンテナショップを活用したシティーセールスの回数	商工観光課	○		4 (平成26年度)	5	6	5	3	0	6	△	例年、友好都市である東京都目黒区や銀河連邦共和国としてつながりのある神奈川県相模原市のイベントへの参加や東京都池袋にある宮城県アンテナショップ「宮城ふるさとプラザ」に出店していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 【令和2年度実績内訳】 ■東京都目黒区 ・目黒区民まつり(中止) ・自由が丘女神まつり(中止) ■東京都池袋 ・宮城県アンテナショップ「宮城ふるさとプラザ」(中止) ■神奈川県相模原市 ・相模原市民桜まつり(中止) ・潤水都市さがみはらフェスタ(中止)	新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しつつ、友好都市や銀河連邦を中心に角田の物産を多く取り扱う株式会社まちづくり角田と連携し、PRを行っていく。
		16	かくた牟宇姫ひなまつり集客数	商工観光課			1,000 (平成26年度)	2,000	1,200	1,700	0	2,024	2,500	△	①新型コロナウイルス感染症の影響により体験イベントは開催しなかったが、郷土資料館で雛人形の展示などを行った。 ②ひなまつりのタイアップ企画として街中商店街を中心に37店の協力をいただき、「牟宇姫お買い物スタンプラリー」(期間:2月15日~3月15日)を開催し、582通からプレゼントへの応募があった。 ③展示の一つとして「ぬりえコンテスト」の作品を募集し、347通の応募があった。	①「牟宇姫」企画として郷土資料館の「企画展 雛人形」とタイアップして実施していくが、新型コロナウイルス感染症の影響により内容・企画については状況を考慮しながら実施していく。 ②まちなかイベントとして大切にしていきたいに商店街及び商店の巻き込みが重要となる。
		17	かくたスポーツビレッジの年間利用者数	生涯学習課			241,051 (平成26年度)	246,672	253,833	261,014	209,689	119,066	285,000	△	新型コロナウイルス感染症対策のため、5月まで施設を閉鎖し、その後利用制限を行ってきたため、各施設とも前年度より大幅に利用者数が減少した。また、スポーツ交流館や総合体育館武道場などでは、換気設備の工事を実施したため、工事期間中施設が一部使用できなかった。 【令和2年度実績内訳】(前年比▲90,623人) ・総合体育館 21,420人(▲27,459人) ・温水プール 48,098人(▲29,405人) ・陸上競技場 7,171人(▲13,074人) ・野球場 3,322人(▲4,083人) ・多目的運動場 1,697人(▲3,543人) ・多目的芝生広場 5,080人(▲1,704人) ・テニスコート 12,272人(▲1,308人) ・ゲートボール場 0人(▲243人) ・交通公園自転車 13,989人(▲3,178人) ・スポーツ交流館 6,017人(▲6,626人)	新型コロナウイルス感染症の終息後、施設の使用制限の解除、各種事業の全面再開、スポーツ団体活動の活性化を促し、2年前の水準を目指す。
		18	総合案内表示板の設置数【累計】	商工観光課	○		4 (平成26年度)	4	5	6	-	-	- (平成30年度で事業完了)	△	平成27年度に策定した観光ルートサイン計画に基づき、平成29年度に観光ルートサイン設置工事を行い、平成30年度に道の駅かくたへの設置により完了した。	予定通りの設置基数となった。内容が古くならないよう随時メンテナンスを実施する。

角田市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

※ ○ = 達成 : 令和2年度の実績値が令和3年度の目標値と同値もしくはこれを上回ったもの
 △ = 達成見込 : 令和2年度の実績値は令和3年度の目標値に達していないが、令和3年度の実績値が目標値に達することが見込まれるもの
 △ = 要努力 : 現時点において、令和3年度の目標値に達することが難しく、今後、特に重点的な取組を行い目標値の達成を目指すもの
 - = 算定不能 : 現時点において、達成状況を把握することができないもの(条例の制定や計画の策定などを目標にしている指標等)

基本目標	基本的方向	(b) 数値目標 重要業績評価指標(KPI)		(c) 担当課	(d) 長総 まちづくりの 指標	男女共 同参画 の指標	(e)					(f)				
		No.	指標名				基準値	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 目標	達成状況 (※参照)	現状分析	今後の取組(改善)
		19	体験型観光メニュー利用者数	商工観光課/まちづくり政策課/生涯学習課			- (平成30年度) 人	- 人	- 人	- 人	148 人	1,515 人	1,940 人	↑	<p>【令和2年度達成状況及び担当課評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度の実績値が令和2年度の実績値に達していないが、令和3年度の実績値が目標値に達することが見込まれるもの 各指標の達成度の現状分析とそれを踏まえた今後の取組(改善)内容を入力してください。(g)列参照) 箇条書きなどで簡潔に分かりやすく入力し、数値的なデータの裏付けのあるものはそれを用いて根拠等を明確にしてください。 <p>達成状況(※参照)</p> <p>現状分析</p> <p>今後の取組(改善)</p>	
3	若い世代が子どもを産み育てやすい環境の整備	③	子育て支援の環境や支援に関して満足していると思う市民の割合 (角田市子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査)	-	○		15.6 (満足2.1 + やや満足13.5) (平成25年度) %	- %	- %	- %	13.8 (満足2.2 + やや満足11.6) %	- %	- %	30.0 %	↘	平成30年度実施「角田市子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査」集計結果より。
	(1) 結婚・妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援や学校教育の充実	20	婚活イベントなどの開催数	生活環境課			5 (平成26年度) 回	10 回	12 回	9 回	- 回	- 回	- 回 (平成30年度で事業終了)	↘	平成30年度にて事業終了。	令和元年度から結婚に伴う経済的負担軽減の観点により「結婚新生活支援事業」(現:まちづくり政策課)へ移行した。
		21	第2子以降の出生数	子育て支援課			112 (平成25年) 人	93 人	78 人	82 人	77 人	70 人	140 人	↘	<p>全体の出生数が減少傾向(平成26年度159人⇒令和元年度128人⇒令和2年度120人)、全出生数に占める母35歳以上の割合が増加傾向(平成26年度16.8%⇒令和元年度27.3%⇒令和2年度30.0%)のため、第2子以降の出生について今後増加するかどうか懸念される。</p> <p>◎令和元年度年人口動態統計(概数 令和2年6月5日厚労省発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 合計特殊出生率 (1人の女性が生涯に産む子どもの数) 全国 1.36(平成30年:1.42) 宮城県 1.23(平成30年:1.30) 	<p>①子育て世代包括支援センター事業により、妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援を提供する。</p> <p>②健診事業や相談事業等安心して産み育てるための母子保健施策の充実を図る。</p> <p>③小学校入学祝子育て応援券支給や、子ども医療費の所得制限の撤廃を実施する等、乳幼児の保護者の負担軽減を図っていく。</p> <p>④円滑な保育施設の経営を促進することにより、安心して子育てできる環境を整えていく。</p>

角田市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

※ ○ = 達成 : 令和2年度の実績値が令和3年度の目標値と同値もしくはこれを上回ったもの
 △ = 達成見込 : 令和2年度の実績値は令和3年度の目標値に達していないが、令和3年度の実績値が目標値に達することが見込まれるもの
 △ = 要努力 : 現時点において、令和3年度の目標値に達することが難しく、今後、特に重点的な取組を行い目標値の達成を目指すもの
 - = 算定不能 : 現時点において、達成状況を把握することができないもの(条例の制定や計画の策定などを目標にしている指標等)

基本目標	基本的方向	(a)		(b)		(c)		(d)		(e)					(f)							
		数値目標 重要業績評価指標(KPI)		担当課	長総 まちづ くりの 指標	男女共 同参画 の指標	基準値	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 目標	達成状況 (※参照)	現状分析	今後の取組(改善)						
		No.	指標名																			
				子育て支援課	○	○	13 (平成26年度)	21 人	36 人	7 人	7 人	5 人	0 人	↓	【令和2年度達成状況及び担当課評価】 ・令和3年度の目標値に対する達成状況を入力してください。(※参照) ・各指標の達成度の現状分析とそれを踏まえた今後の取組(改善)内容を入力してください。(g)列参照) ・箇条書きなどで簡潔に分かりやすく入力し、数値的なデータの裏付けのあるものはそれを用いて根拠等を明確にしてください。 達成状況(※参照)	現状分析	今後の取組(改善)					
							22	保育所入所待機児童数											①核家族及び共働き世帯の増加等で低年齢児を中心に保育需要が高まり、保育所利用希望が増えている。加えて、国による幼児期の教育・保育無償化により、さらに保育需要が高まってきている。 ②認定こども園の新規開園による保育定員の増加によって、平成30年度の待機児童数は大きく減少しており、確実に施設整備の効果が表れている。 ③平成31年4月、角田保育所の後継施設として角田光の子保育園が開園。今後も施設規模と保育士の確保できる範囲でできる限り多く受け入れていく。 ④令和2年4月の角田幼稚園の突然の休園により、3歳児以上の未就学児の受け入れ先が減少した。 ⑤現状として、施設の減少、保育需要の高まりの影響等もあり、待機児童ゼロには至っていない。	①保育所入所児童の利用調整を綿密に行い、効率的な施設利用となるよう、また、保育の必要性に応じた適切な調整結果となるよう努めている。 ②幼児教育・保育の無償化により、連絡を密にする教育・保育施設の協力を得ながら、待機児童の解消に努める。		
							23	市内小中学校図書館の一人当たりの年度内貸出冊数				22.5 (平成30年度)	19.55 冊	21.4 冊	22.5 冊	24 冊	24.8 冊	24 冊	○	①令和元年度以降一人当たり年間24冊(月2冊)の貸出が達成された。 ②令和2年度貸出冊数の小学校と中学校の平均貸出冊数は下記のとおり。 ・小学校全体一人当たり貸出数 38.17冊 ・中学校全体一人当たり貸出数 1.94冊	①令和元年度以降一人当たり年間24冊(月2冊)の貸出が達成された。	中学校になると極端に貸出冊数が減少していることから中学校での読書の習慣化が求められる。各中学校で朝読書や図書委員などを中心に取り組むを行う。
							24	全国体力・運動能力、運動習慣等調査における平均獲得点数 ※[]は全国の平均				点	点	点	点	点	点	点	—	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査が中止となったことから実績はない。	①小学校・中学校ともに運動機会の確保に向けて継続的に取り組んでいく。 ②小学校では、児童が運動好きになるような授業づくりや体を使った自主的な遊びを促す場づくりに取り組む。 ③中学校では、生徒の多様性に対応し、生徒に自己肯定感や達成感を味わわせることができる授業づくり及び部活動経営に取り組む。 ④小中学生ともに正しい生活習慣の確立を図る。
(2)	子育て支援によるワークライフバランスの実現			まちづくり政策課	○	○	18.0 (平成26年度)	18.0 %	24.0 %	27.5 %	28.2 %	20.2 %	40.0 %	↓	①審議会等の新設又は委員の改選・補充にあたり、積極的な女性委員の登用について所管課等に呼びかけを行った。 ②令和2年度は前年比-8.0%で大減幅。 ③「角田市付属機関の設置等に関する条例」の施行に伴い、新たに附属機関として位置づけられた「角田市政区運営協議会」が委員総数93人に対し、女性委員数が0人であったため女性の割合が大幅に減少した。 【令和2年4月1日時点(令和2年度実績)】 審議会等29件、委員等数337人、うち女性68人 女性の割合20.2% 【令和3年4月1日時点(令和3年度実績)】 審議会等31件、委員等数388人、うち女性87人 女性の割合22.4%	①審議会等の新設又は委員の改選・補充にあたり、積極的な女性委員の登用について所管課等に呼びかけを行った。	目標達成には至らなかったが、引き続き所管課等への呼びかけをこたあることに行うほか、政策方針決定過程への女性参画の必要性についての啓発を更に積極的に実施する。					
							26	角田市役所における男性職員の育児休業取得率				0.0 (平成26年度)	0.0 %	9.1 %	0.0 %	0.0 %	14.3 %	10.0 %	○	対象者(3歳未満の子を持つ男性職員)は7名であり、1名が「半年間」育児休業を取得した。	晩婚化等で管理監督者となってから出産・育児を迎えるケースが増えることも想定しながら、通年に限らず、短期間での育児休業取得を斡旋するなど、育児休業の取得率の向上に取り組む。	
							27	新角田市男女共同参画計画の策定【累計】				- (平成26年度)	-	-	策定	-	-	-	-	①市民意識調査の結果等を基に、国及び県の計画を動機とし、平成31年3月に「角田市男女共同参画計画(第2次)」を策定した。 ②また、本計画は、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律に基づく基本計画、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく推進計画と一体的に策定した。	①本計画に掲げる男女共同参画に関する施策を着実に推進していくため、横断的な連携・調整を図りながら、全庁的に取り組む。 ②また、本計画に掲げる男女共同参画に関する指標の達成状況を毎年把握し、市内の外部有識者等で構成される行政経営推進委員会において進捗管理を行い、取組内容の改善を図る。	

角田市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

※ ○ = 達成 : 令和2年度の実績値が令和3年度の目標値と同値もしくはこれを上回ったもの
 △ = 達成見込 : 令和2年度の実績値は令和3年度の目標値に達していないが、令和3年度の実績値が目標値に達することが見込まれるもの
 △ = 要努力 : 現時点において、令和3年度の目標値に達することが難しく、今後、特に重点的な取組を行い目標値の達成を目指すもの
 - = 算定不能 : 現時点において、達成状況を把握することができないもの(条例の制定や計画の策定などを目標にしている指標等)

基本 目標	基本的 方向	(b) 数値目標 重要業績評価指標(KPI)		(c) 担当課	(d) 長総 まちづ くりの 指標	男女共 同参画 の指標	(e)					(f)												
		No.	指標名				基準値	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 目標	達成状況 (※参照)	現状分析	今後の取組(改善)								
4	安全・安心で住み続け たい「まちづくり」	④ 角田市に住み続けたい と思う市民の割合 (角田市地方創生に関する 市民アンケート調査)		-			52.4 (平成27年度)	%	-	%	-	%	-	%	-	%	60.4	%	70.0	%	↓	【令和2年度達成状況及び担当課評価】 ・令和3年度の目標値に対する達成状況を入力してください。(※参照) ・各指標の達成度の現状分析とそれを踏まえた今後の取組(改善)内容を入力してください。(g)列参照) ・箇条書きなどで簡潔に分かりやすく入力し、数値的なデータの裏付けのあるものはそれを用いて根拠等を明確にしてください。 達成状況(※参照)		
		(1) 健康に 暮らせる 「まちづくり」	28	ウォーキングイベントの 参加者数	健康長 寿課	○	○	1,102 (平成26年度)	人	1,296	人	1,205	人	1,227	人	437	人	542	人	1,400	人	↓	①平成29年度からは「スマートかくだチャレンジ事業」の健康ポイント事業のウォーキングとしての位置付けで実施している。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で大規模イベントが中止になったものの、市民のウォーキング愛好家によって設立された角田市ウォーキング協会が道の駅かくだのウォーキングステーションを活用したイベント等を開催したこと等により、微増となった。 ②健康ポイント事業を(健)診事業にも拡大、活動量計や体成分分析器等を活用しデータを見る化したこと、健康意識の向上につながっている。 ①今後も「スマートかくだチャレンジ事業」の一事業である健康ポイント事業として位置づける。令和3年度も継続して行う。 ②他課や自治センター、地区振興協議会、行政区などと連携を図り、地区等で実施するウォーキングイベントを健康ポイント事業として支援する。 ③体成分分析器等の活用によるデータの見える化のさらなる周知を図り、健康づくりに関心をもってもらうきっかけづくりをしていく。 ④令和元年度に整備されたウォーキングステーションの活用・周知を図る。	
		(2) 協働による 「まちづくり」	29	(仮称)角田市民自治 基本条例の制定 【累計】	まちづ くり政策課	○		- (平成26年度)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	①自治センターを市長部局に移管し、地域のコミュニティを継続可能なものとするための取組みに着手している。 ②地域の担い手確保につながる仕組みづくりや行政の関わり方等に課題があり、これらの課題克服に向けた改革に取り組む体制づくりが必要。 ①公民館事業と地区振興協議会事業の見直し、整理・融合を図る。 ②今後の地域運営を持続可能なものとするため、福祉や防災の視点に立った取組を進め、国の集落支援員制度等を活用し、地域の将来像やあり方について話し合う。 ※自治基本条例は制定の予定なし。	
		(3) 環境に 配慮した 「まちづくり」	30	LED防犯灯の設置数 【累計】	防災安 全課			967 (平成26年度)	基	1,148	基	1,237	基	1,321	基	1,386	基	1,462	基	1,492	基	↑	①令和3年3月末現在、防犯灯総数は1,697基でその内訳は、蛍光灯型235基、LED型1,462基で、LED化率は86.2%となっている。 ②各行政区より設置要望が(令和3年4月1日現在)となっている。 ③みやぎ環境交付金を活用し増設している。 ①さらに防犯灯のLED化を推進し、令和3年度は、新規10基、交換22基のLED化を予定し設置数を1,494基とする(目標達成見込み)。 ②みやぎ環境交付金を活用し増設する。	
		(4) 安心で 暮らし やすい 「まちづくり」	31	阿武隈急行線にお ける市内4駅の年間 定期外利用人数	まちづ くり政策課			186,181 (平成26年)	人	181,154	人	185,041	人	187,066	人	133,771	人	74,954	人	130,326	人	↓	令和元年度東日本台風からの復旧事業や、新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策としての移動自粛、イベントの中止等により、年間定期外利用人数は前年度の56%程度にとどまり、大幅減少となった。 令和元年度東日本台風に伴う災害復旧優先のため、通常の道路改良については、人的側面・財政的側面の両面から大幅な縮小となったことなどから、目標達成はできなかった。 規格改良済(m)/実延長(m)=改良率(%) 令和2年度 128,723.8 / 143,900.6 = 89.5	
			32	幹線市道改良率 【累計】	都市整 備課	○		89.1 (平成26年)	%	89.3	%	89.3	%	89.3	%	89.5	%	89.5	%	89.6	%	↓	令和2年度に実施した市民アンケート調査の結果により実績値が確定し、満足度は31.8%と目標を大幅に下回り未達成となった。 令和元年度東日本台風の直後に実施したアンケート調査であったため、影響を受けたものと思われる。 令和2年度は、自主防災組織の結成実績なし(全93行政区のうち88行政区について結成済み)。 ②結成された自主防災組織に対し、防災対策用資機材等整備に要する補助金を交付している。 200,000円+世帯数×100円	
			33	防災対策の市民満足 度 (角田市第5次長期総合 計画後期基本計画 市民 意識調査)	防災安 全課	○	○	61.8 (平成26年)	%	-	%	-	%	-	%	-	%	31.8	%	70.0	%	↓	令和2年度は、自主防災組織の結成実績なし(全93行政区のうち88行政区について結成済み)。 ②結成された自主防災組織に対し、防災対策用資機材等整備に要する補助金を交付している。 200,000円+世帯数×100円	
			34	自主防災組織の組織 率 【累計】	防災安 全課			81.0 (平成26年)	%	92.4	%	93.5	%	94.6	%	94.6	%	94.6	%	100.0	%	↑	令和2年度は、自主防災組織の結成実績なし(全93行政区のうち88行政区について結成済み)。 ②結成された自主防災組織に対し、防災対策用資機材等整備に要する補助金を交付している。 200,000円+世帯数×100円	
			35	(仮称)角田市国土強 靱化地域計画の策定 【累計】	まちづ くり政策課	○		- (平成30年度)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	策定	↑	令和2年5月に国土強靱化地域計画策定支援業務委託契約を締結し、計画策定に向けた作業を本格化し、令和3年度初頭に策定する。 (令和3年4月22日 策定済み。)